

保育施設における食物アレルギー児に対する 食物除去対応の10年間の変化 富山県における 平成13年度と18年度調査との比較

出典 日本小児アレルギー学会誌(0914-2649)28巻5号 Page806-813(2014.12)
(<http://search.jamas.or.jp/link/ui/2015155034>)

著者 足立陽子 他

調査地域 富山県

調査時期 2012年

調査対象 保育園(0~6歳)
幼稚園(3~6歳)

依頼数 401施設

有効回答数 282施設

有効回答率 70.3%

診断方法 教員の申告

有症率 3.6%

調査概要 富山県内の全保育施設を対象とした除去食対応の実態調査を行い、過去2回と比較検討した論文。除去食対応の児はすべての年齢層において増加し、特に低年齢でその傾向が強く認められた。